

第廿四條 第廿二條第一項ノ認可ヲ受ケタル者ハ毎年一月三十一日迄ニ様式第十一號ニ依リ前年ノ成績表ヲ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

第廿五條 前二條ノ書類ハ地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

第廿六條 蠶種検査員ハ様式第十二號ノ證票ヲ携帯スルコトヲ要ス

第廿七條 蠶種検査員ハ左ニ掲ケタル者ヨリ地方長官之ヲ命ス

- 一 農商務省蠶業講習所、農務局舊蠶業試驗場又ハ農務局假試驗場蠶事部ヲ卒業シタル者
- 二 農務局ノ檢定試驗ニ及第シタル者
- 三 地方長官ノ信認セル學校、講習所、傳習所又ハ試驗場ニ於テ蠶業ニ關スル學科ヲ修了シタル者
- 四 蠶業ニ熟達シ成爾鑑査ニ精通スル者

第廿八條 地方長官カ蠶種検査員ヲ命免シタルトキハ其氏名ヲ告示スルコトヲ要ス

第廿九條 地方長官カ蠶種検査所ノ位置若クハ管轄區域ヲ定メ又ハ之ヲ變更シタルトキハ其旨ヲ告示スルコトヲ要ス蠶種検査所ヲ開始シ又ハ閉鎖シタルトキ亦同シ

第三十條 地方長官ハ毎年五月十五日マテニ様式第十三號ニ依リ前年度ノ検査成績表ヲ農商務大臣ニ差出スコトヲ要ス

附 則

第卅一條 蠶種ノ検査ニ關スル手續ハ地方長官之ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第卅二條 本則ハ明治三十三年法律第四十五號蠶種検査法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ本則施行ノ日ヨリ一年間ハ第四條第二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

明治三十年農商務省令第八號蠶種検査法施行細則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

樣 式

第一號 蠶種製造届書

化 性	化 期	名 稱	原種掃立 蛾數	原種掃立 蟻量	製造豫算額 原種蛾數 製絲用種枚數	製造所
一化性						
、						
、						
二化性	第一化					
、						
、						
、						
、	第二化					

化性化期名稱
 原種掃立蠟數
 原種掃立蟻量
 收滿其他計額
 製種製其他造計額

第十一號 明治 年成績表

第十號 原種檢查合格證印

肉徑圓
 一寸五分
 形



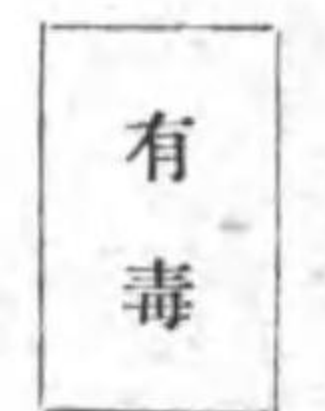
第九號 無毒印

肉圓形
 徑二分五分
 色朱



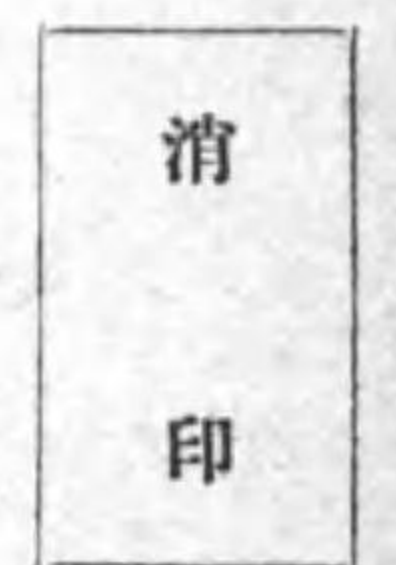
第八號 有毒印

長方形
 縱三分
 橫二分
 肉色黑



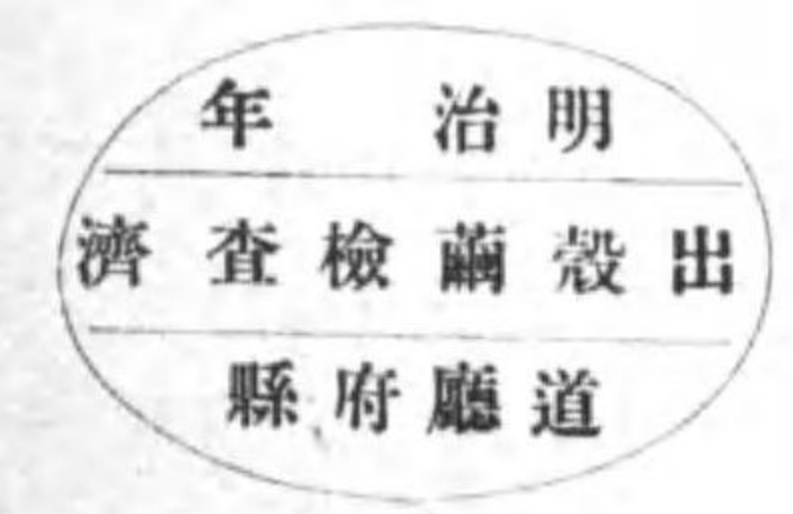
第七號 消印

肉橫縱長
 色五一方
 黑分寸形



第六號 出殼繭檢查濟印

肉短長楮
 徑徑圓
 色六一
 黑分寸形



第五號 製絲用種檢查合格證印

肉短長楮
 徑徑圓
 色一寸五分
 朱寸形



第四號 原種用印

肉徑圓
 色七
 黑分形



合計

備考 産卵後ノ検査ヲ受ケサル者ノ數ハ本表ニ算入スハカラス

多化性ニ第五化以上ノモノアルトキハ相當ノ欄ヲ設ケテ之ヲ記入シ同化期ノモノニ越年種ト

不越年種トアルトキハ各別ニ之ヲ記載スヘシ

以下第五表ニ至ルマテ皆同シ

蠶種製造者ノ欄ニハ其實數ヲ記載スヘシ(一化性ト二化性トヲ併セテ製造スル者ヲ一人トスルカ如シ)

第二表ノ一 一化性原種掃立蛾數及ヒ蟻量

合計	郡	市	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量
	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量
合計						

第二表ノ二 二化性原種掃立蛾數及ヒ蟻量

合計	郡	市	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量
	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量
合計						

第二表ノ三 多化性原種掃立蛾數及蟻量

合計	郡	市	第一化	第二化	第三化	第四化
	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量	蛾數	蟻量
合計						

第三表ノ一 一化性繭樹量

郡	市	合格	種繭	其他	計

合									
計									

備考 二化性及多化性ニ付テハ第二表ニ準シテ本表ヲ調製スヘシ
 第四表ノ一 一化性製絲用種蠶種枚數

郡	市	合	格	不	合	格	計
合	計						

備考 原種用ノ印アルモノニ製絲用種検査合格ノ證印ヲ與ヘタルトキハ越年種ニアリテハ百蛾區、不越年種ニアリテハ五十蛾區ヲ以テ一枚ニ換算シ端數ハ四捨五入スヘシ
 二化性及多化性ニ在リテハ第二表ニ準シテ本表ヲ調製スヘシ

第五表ノ一 一化性原種蛾數

郡	市	無	毒	有	毒	其	他	計
合	計							

備考 二化性及多化性ニ付テハ第二表ニ準ジ本表ヲ調製スヘシ

蠶種検査法施行手續 三十四年三月縣令第十六號

- 第一條 蠶種検査法施行規則第一條ノ蠶種製造届ハ毎年三月三十一日迄ニ知事ニ届出ツルヲ要ス但掃立以前ニ於テ届出ノ事項ニ變更ヲ生シタル時ハ直ニ届出ツルヲ要ス
- 第二條 蠶種製造者各所ニ製造所ヲ設クル時ハ相當ノ代理人ヲ定メ第一號書式ニ依リ雙方連署ノ上蠶種製造届ト同時ニ届出ツルヲ要ス
- 第三條 蠶種製造者ハ製造所ニ第一號雛形ノ標札ヲ掲クルヲ要ス

第四條 蠶種製造者ハ毎年原種ノ掃立ヲ終リタルトキハ三日以内ニ第二號書式ニ依リ届出ツルヲ要ス但掃立數日ニ亘リタル時ハ其都度届出ベシ

第五條 製造所ヲ異ニシタル蠶兒繭及卵ハ之ヲ混同スルヲ得ス

第六條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ニ供用セザル原種ノ掃殻ト雖モ收繭後ノ検査ヲ經ル迄之ヲ保存スルヲ要ス

第七條 蠶種検査法施行規則第二十條ニ依リ種繭證明書ノ書換ヲ請求スルトキハ第三號書式ニ依ルヲ要ス

第八條 製種用蠶兒ノ上簇ヲ終リタル時ハ第四號書式ニ依リ即日所轄蠶種検査所ニ届出ツルヲ要ス

第九條 製種用蠶兒ヨリ産出シタル繭ハ收繭后ノ検査結了スルニアラサレハ他所ニ搬出スルヲ得ス

第十條 蠶種製造者ハ越年種ニアリテハ上簇ヨリ十二日以内不越年種ニアリテハ十日以内ニ種繭ヲ撰別スルヲ要ス

第十一條 種繭ノ撰別ヲ終リタルトキハ第五號書式ニ依リ收繭届ヲ調製シ臨檢々査員ニ差出スルヲ要ス

第十二條 種繭證明書ヲ下付シタル後事故アリテ蠶種ヲ製造セサル者ハ種繭證明書ヲ添へ其旨所轄蠶種検査所ニ届出ツルヲ要ス

第十三條 蠶種検査法施行規則第十九條ニ依リ種繭證明書ノ交付ヲ請求スルトキハ毀損シタルモノニアリテハ其證明書ヲ添付シ滅失シタルモノニアリテハ其理由ヲ記シ請求スルヲ要ス蠶種検査所ハ交付スベキ證明書ニ再下付ノ旨ヲ記載スヘシ

第十四條 不越年蠶種ノ收繭後ノ検査終リタルトキハ三日以内ニ第六號書式ノ臺紙證印請求書ニ臺紙及種繭證明書ヲ添へ所轄蠶種検査所ニ差出スルヲ要ス

第十五條 製絲用種蠶種臺紙ハ縦一尺一寸七分横七寸四分原種用種蠶種臺紙ハ第二號雛形ニ依ルヲ要ス

第十六條 不越年製絲用蠶種ハ一枚ニ産卵セシムヘキ蛾數ヲ臺紙表面ニ記入スルヲ要ス

第十七條 不越年原種ノ製造ヲ了リタルトキハ第七號書式ノ不越年原種検査請求書ニ卵及母蛾ヲ添へ第八號書式ノ蠶種製造届ト共ニ所轄蠶種検査所ニ差出スルヲ要ス

第十八條 蠶種ノ製造ヲ終リタルトキハ三日以内ニ第八號書式ノ蠶種製造額届ヲ所轄蠶種検査所ニ差出スルヲ要ス

第十九條 越年原種母蛾ノ検査ハ毎年九月一日ヨリ開始ス

第二十條 蠶種製造者ハ第九號書式ノ越年原種檢査請求書ニ卵及母蛾ヲ添ヘ所轄蠶種檢査所ニ差出スヲ要ス

第二十一條 原種保管中ハ預リ證ヲ交附ス

第二十二條 蠶種製造者原種檢査済ノ告知ヲ受ケタルトキハ蠶種檢査所ニ出頭シ原種ノ枚數及證印ノ有無ヲ取調原種ヲ受取り預リ證ヲ返納スヘシ

第二十三條 他府縣在住ノ蠶種製造者ニシテ本縣ニ於テ蠶種ヲ製造セシトキハ製造所々所在地名ヲ臺紙ノ裏面ニ記載スルヲ要ス

他府縣ヨリ種繭ヲ買ヒ入レ製造スル者ハ其生産地名ヲ臺紙ノ裏面ニ記載スルヲ要ス

第二十四條 蠶種檢査法施行規則様式第三號乃至第六號及第十號ノ印ヲ押捺スルトキハ同時ニ第三號雛形ノ印ヲ押捺スルヲ要ス

第二十五條 原種製造用ノ臺紙ニハ番號ヲ付シ其蛾區ノ符號ハ數字ヲ用キルヲ要ス母蛾ハ紙袋ニ入レ之ニ臺紙ト同一ノ番號及符號化名稱並ニ製造人ノ氏名ヲ記載スヘシ但シ臺紙ノ番號ハ一名稱毎ニ新タニ起スヲ要ス

第二十六條 母蛾ノ亡失シタル區ニハ第四號雛形ノ印ヲ押捺ス蠶種製造者欠蛾又ハ有毒卵ノ區ヲ除去シ無毒卵ノ區ヲ以テ填補セントスルトキハ蠶種檢査所ニ於テ自ラ之ヲ爲スヲ要ス蠶種檢査

所ハ之ニ第五號雛形ノ繼印ヲ押捺スヘシ

第二十七條 蠶種檢査法施行規則第十八條ニ依リ製絲用種檢査合格證印ヲ請求セントスルトキハ

第十號書式ノ請求書ニ理由書ヲ添ヘ所轄蠶種檢査所ニ差出ヲ要ス

第二十八條 蠶種製造者及代理人ハ原種掃立以後檢査期間ニ於テ他出セントスルトキハ必相當ノ

受檢代理人ヲ定メ雙方連署ノ上所轄蠶種檢査所ニ届出ツルヲ要ス

第二十九條 第六條第九條ニ違背シタルモノハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第三十條 母蛾檢査ハ受附順ニ依リ執行ス但シ受檢者一時ニ多數出頭シタルニキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ムルヲ要ス

第一號書式

代理人 届

縣	府	番地設置
市	郡	町
製造所	村	大字
擔當		
氏		名

右代理人ト相定メ候條此段及御届候也

年月日

府縣郡市町村大字番地

本人 氏

名印

府縣郡市町村大字番地

代理人 氏

名印

知事宛

第二號書式

掃立届

化性	期名	稱	原種	掃全	量上	掃立	製造
一化性			蛾數	蟻		月日	所
二化性							

右及御届候也

郡市町村大字番地

年月日

氏

名印

検査所宛

二化性第二化及多化性第二化以上本式ニ準ス

代理人ヨリ届出ツルモノハ郡市町村大字番地何某代理人ト肩書スルヲ要ス以下諸届書式皆同シ

第三號書式

種繭證明書々換請求書

化性	期名	稱	種繭量	讓渡全上	現在種量	讓渡人製造所
						讓受人製造所

右及請求候也

郡市町村大字番地

讓渡人 氏

名印

郡市町村大字番地

年月日

查 查 所 宛

讓 受 人 氏

名 印

(當事者雙方検査所々轄ヲ異ニスルトキハ讓受人ノ肩ニ所轄蠶種検査所名ヲ附記スヘシ)

第四號書式

上 簇 届

化 性 化 期 名 稱	届 出 掃 全 上 上 日 簇	種 繭 撰 別 豫 定 月 日	製 造 所

右及御届候也

郡市町村大字番地

年 月 日

氏

名 印

檢 查 所 宛

(二化性第二化多化性第二化以降本式ニ準スヘシ)

第五號書式

收 繭 届

調 査 事 項	化 性 名 稱	一 化 性 何 々	二 化 性 第 一 化 何 々	多 化 性 第 一 化 何 々
掃 立 蛾 數				
全 上 蟻 量				
收 繭 總 樹 量				
蟻 量 一 匁 ニ 付 收 繭 總 樹 量				
種 繭 撰 別 樹 量				
製 絲 用 繭 樹 量				
同 功 繭 樹 量				
(其他繭樹量) 朱書				
原 種 用 製 造 豫 算 蛾 數				
製 絲 用 全 上 枚 數				
全 上 一 枚 ノ 産 卵 蛾 數				

發蛾豫定月日

右及御届候也

年月日

検査所宛

郡市町村大字番地

氏

名印

(二化性多化性第二化以上本式ニ準ス)

第六號書式

不越年蠶種臺紙證印請求書

化性化期名稱	種繭證明書	蠶種製造豫算枚數	發蛾豫定月日
	番號一種繭量	原種製絲用種	

右請求候也

年月日

郡市町村大字番地

氏

名印

検査所宛

第七號書式

不越年原種検査請求書

化性化期名稱	原種枚數	産卵蛾數	全上月日	孵化豫定月日

右請求候也

年月日

郡市町村大字番地

氏

名印

第八號書式

蠶種製造届

化性化期名稱	出産日	蠶種製造額	殘餘枚數
	繭量	製絲用種	製絲用種

右及御届候也

郡市町村大字番地

年月日

氏

名印

検査所宛

(越年蠶種ニアリテハ残餘枚數ノ一欄ヲ要セス)

第九號書式

越年原種母蛾検査請求書

化	性	化	期	名	稱	枚	數	蛾	數

右請求候也

郡市町村大字番地

年月日

氏

名印

検査所宛

第十號書式

原種用變更請求書

化	性	化	期	名	稱	枚	數	蛾	數	額	殘	枚	數	蛾	數

右變更致度候ニ付証印相成度請求候也

郡市町村大字番地

年月日

氏

名印

検査所宛

第一號雛形

蠶種製造所
 郡市町村大字番地
 氏名

縦一尺五寸
横五寸

代理人設定ノ場合ニハ其旨記載スヘシ

第二號雛形

受付番號	化性名稱	產卵製造員印
月日	番號	員印

框ノ區劃ハ方一寸六分周邊ノ縁ハ各二分縱一尺一寸七分横七寸四分製造者ノ住所氏名ハ臺紙ノ裏面ニ記載スヘシ

第三號雛形

山形縣蠶種檢査員氏名

肉色朱 方六分

第四號雛形

欠蛾

肉色黒 圓徑二分六厘

第五號雛形

繼印

肉色朱 長徑三分短徑二分

蠶種検査手續

明治三十四年三月一日 認可
全年月訓令第五四號

三四

第一條 原種掃立後ノ視察ハ原種掃立蛾數ヲ對照シ施行規則第二條ニ依リ掃立蟻量ヲ正確ニ量定セシヤ否ヤ並ニ製造者ノ量定ニ用キタル衡器ヲ比較スヘシ

第二條 製種用蠶兒ノ幾部ヲ讓渡シタルトキハ其受授シタル原種ノ掃設及蟻量ノ相當ナルヤ否ヤヲ檢定スヘシ

第三條 施行規則第六條第一號ノ検査ヲ爲スニ當リテハ検査法第三條乃至第五條ニ違背セサルヤ否ヤ及蠶種製造豫定額ヲ檢シ適當ト認メタルモノニ對シ種繭證明書ヲ交付スヘシ

蠶種製造豫定額ヲ定ムルニハ種繭一升ノ平均顆數ヲ定メ之ヲ種繭ノ樹量ニ乘シ種繭ノ顆數トシ次ニ種繭ノ内若干顆ヲ切開シテ其ノ發蛾歩合ヲ定メ之ヲ種繭ノ顆數ニ乘シ其半數ヲ以テ産卵セシメ得ヘキ蛾數ノ標準トスヘシ

第四條 施行規則第十一條第二項ノ場合ハ種繭證明書ヲ臺帳ニ照合シ且施行規則第三條ノ規定ニ違背セサルヤ否ヤヲ檢シ第三條第二項ノ産卵蛾數標準ニ恰當スル臺紙數ニ證印ヲ與フヘシ

第五條 施行規則第十三條ノ手續ハ蠶種製造所ニ於テ出殻繭種繭證明書及蠶種製造額届トヲ照合シタル後證印ヲ押捺スヘシ

第六條 施行規則第十四條ノ手續ハ蠶種製造所ニ於テ卵出殻繭及種繭證明書ヲ照合シタル後證印ヲ押捺スヘシ

第七條 出殻繭ヲ検査スルニ當リテハ検査法第三條及第四條ニ違背セサルヤ否ヤヲ檢定シ次ニ平均一升ノ發蛾顆數ヲ檢シ之ヲ出殻繭ノ樹量ニ乘シ其半數ヲ以テ産卵シタル蛾數ノ標準トスヘシ

第八條 母蛾ノ検査ヲ爲スニハ一蛾毎ニ乳鉢ニ容レ苛性加里ノ稀簿液若クハ蒸溜水少許ヲ加ヘテ能ク磨潰シ其液ヲ顯微鏡ニ照シ微粒子ノ有無ヲ檢定スヘシ
但無毒ヲ決スルニハ五視野以上ヲ檢スベシ

三五

明治三十七年三月九日印刷
明治三十七年三月十四日發行

山形縣內務部第四課

山形縣山形市旅籠町五百四十六番地

印刷者 坂部 藤太郎

山形縣山形市旅籠町五百四十六番地

印刷所 坂部活版所

114
3
90

終